

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/00	3 1 0		G 0 6 F 15/00	3 1 0 J
3/14	3 4 0		3/14	3 4 0 C
3/16	3 4 0		3/16	3 4 0 N
13/00	3 5 1		13/00	3 5 1 F

審査請求 未請求 請求項の数39 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願平8-143196

(22) 出願日 平成8年(1996)6月5日

(71) 出願人 396009964

ユーオルグシステム株式会社

東京都渋谷区恵比寿西2-6-2

(72) 発明者 大橋 弘典

東京都渋谷区恵比寿西2-6-2 ユーオルグシステム株式会社内

(72) 発明者 野村 浩太郎

東京都渋谷区恵比寿西2-6-2 ユーオルグシステム株式会社内

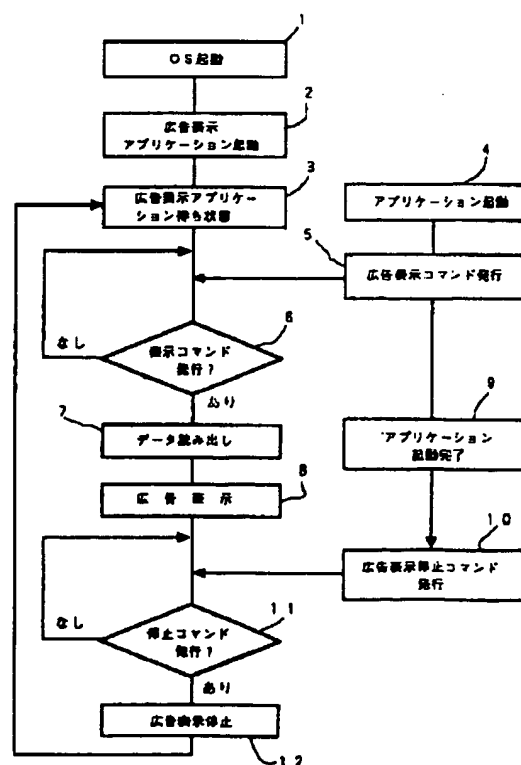
(74) 代理人 弁理士 宇高 克己

(54) 【発明の名称】 情報処理装置及び通信システムと、メッセージ報知方法

(57) 【要約】

【課題】 アプリケーションの起動時間やアクセス時間等に生じる待ち時間中、画像や音声により広告等のメッセージを報知することにより、ユーザの待ち時間を有効に活用すると共に、ユーザの費用負担等を減少させることが出来る技術を提供することにある。

【解決手段】 所定のプログラムが格納された第1の記憶手段と、メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムの命令を実行すると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記所定のプログラムが起動される前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有する情報処理装置。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 情報処理装置であって、  
所定のプログラムが格納された第1の記憶手段と、  
メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、  
前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、  
メッセージを報知する報知手段と、  
前記第1の記憶手段に格納されているプログラムの命令を実行すると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、  
前記所定のプログラムが起動される前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有する情報処理装置。

**【請求項2】** 第2の記憶手段に格納されるメッセージデータが、広告データであることを特徴とする請求項1の情報処理装置。

**【請求項3】** 報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを音声出力する音声出力手段であることを特徴とする請求項1又は請求項2の情報処理装置。

**【請求項4】** 報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを画像表示する表示手段であることを特徴とする請求項1～請求項3のいずれかに記載の情報処理装置。

**【請求項5】** 第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることを特徴とする請求項1～請求項4のいずれかに記載の情報処理装置。

**【請求項6】** 第1の処理手段は、所定のプログラムの起動の完了後にメッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることを特徴とする請求項5に記載の情報処理装置。

**【請求項7】** 第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成されていることを特徴とする請求項5の情報処理装置。

**【請求項8】** 第2の記憶手段に格納されているメッセージデータを更新するメッセージデータ更新手段を更に有していることを特徴とする請求項1～請求項7のいずれかに記載の情報処理装置。

**【請求項9】** 少なくとも第1の端末と第2の端末との間で通信回線を介して、データの送受信を行う通信システムにおいて、  
前記第1の端末は、  
所定のデータを格納する記憶手段と、  
前記第2の端末とデータの送受信を行う送受信手段とを有し、

前記第2の端末は、  
前記第1の端末から所定のデータを送受信する為のプログラムが格納された第1の記憶手段と、  
メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、  
前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、  
メッセージを報知する報知手段と、  
前記第1の記憶手段に格納されているプログラムを実行して前記第1の端末の記憶手段に格納されたデータをアクセスすると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、  
前記第1の処理手段のアクセス開始前に前記メッセージ用プログラムを起動させて待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有することを特徴とする通信システム。

**【請求項10】** メッセージデータが、広告データであることを特徴とする請求項9の通信システム。

**【請求項11】** 報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを音声出力する音声出力手段であることを特徴とする請求項9又は請求項10の通信システム。

**【請求項12】** 報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを画像表示する表示手段であることを特徴とする請求項9～請求項11のいずれかに記載の通信システム。

**【請求項13】** 第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることを特徴とする請求項9～請求項12のいずれかに記載の通信システム。

**【請求項14】** 第1の処理手段は、第1の記憶手段に格納されているプログラムの起動の完了後にメッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることを特徴とする請求項13に記載の通信システム。

**【請求項15】** 第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成されていることを特徴とする請求項13に記載の通信システム。

**【請求項16】** 通信回線を介して、前記第2の記憶手段に記憶されているメッセージデータを更新するメッセージデータ更新手段を更に有していることを特徴とする請求項9～請求項15のいずれかに記載の通信システム。

**【請求項17】** 少なくとも1以上のクライアント、及び第1のサーバ及び第2のサーバとの間でネットワークを介してデータの送受信を行う通信システムにおいて、  
前記第1のサーバは、  
所定のデータが格納された記憶手段と、

前記クライアントからのアクセスに応答して、前記所定のデータを送信するデータ送受信手段とを有し、  
前記第2のサーバは、  
第1のメッセージデータが格納された記憶手段と、  
前記クライアントからアクセスに応答して、第1のメッセージデータを送信するデータ送受信手段とを有し、  
前記クライアントは、  
前記第1及び第2のサーバにアクセスして、データを受信するデータ送受信手段と、  
前記第1及び第2のサーバからデータをアクセスする為のプログラムが格納された第1の記憶手段と、  
第2のメッセージデータが格納された第2の記憶手段と、  
前記第2のメッセージデータに基づいてメッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、  
メッセージを報知する報知手段と、  
前記第1の記憶手段に格納されているプログラムを実行して前記第1のサーバの記憶手段に格納されているデータを前記データ送受信手段を介してアクセスすると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、  
前記第1の処理手段のアクセス開始前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段から第2のメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段と、  
前記データ送受信手段の回線状況を監視し、前記第2のサーバとデータの送受信が可能となった場合には前記第2のサーバにアクセスし、前記第2のサーバの記憶手段に格納されている第1のメッセージデータをダウンロードし、このダウンロードしたデータを新たな第2のメッセージデータとして前記第2の記憶手段に格納する第3の処理手段とを有することを特徴とする通信システム。  
【請求項18】 第1及び第2のメッセージデータが、広告データであることを特徴とする請求項17の通信システム。  
【請求項19】 報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを音声で出力する音声出力手段であることを特徴とする請求項17又は請求項18の通信システム。  
【請求項20】 報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを画像表示する表示手段であることを特徴とする請求項17～請求項19のいずれかに記載の通信システム。  
【請求項21】 第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることを特徴とする請求項17～請求項20のいずれかに記載の通信システム。

【請求項22】 第1の処理手段は、第1の記憶手段に格納されているプログラムの起動の完了後にメッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることを特徴とする請求項21の通信システム。

【請求項23】 第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成されていることを特徴とする請求項21の通信システム。

【請求項24】 第2の記憶手段は、報知されたメッセージデータを消去するように構成されていることを特徴とする請求項17～請求項23のいずれかに記載の通信システム。

【請求項25】 情報処理装置においてメッセージを報知する方法であって、

メッセージデータを予め記憶する工程と、  
所定のプログラムが起動される前に記憶されているメッセージを報知待ち状態にする工程と、  
前記プログラムの起動が開始されると、メッセージ報知コマンドを発行する工程と、

メッセージ報知コマンドを受けて、記憶されているメッセージを報知する工程とを有するメッセージ報知方法。

【請求項26】 メッセージデータが広告データであることを特徴とする請求項25のメッセージ報知方法。

【請求項27】 メッセージデータを更新する工程を更に有することを特徴とする請求項25又は請求項26のメッセージ報知方法。

【請求項28】 報知する工程は、メッセージを報知する時間を任意に設定することが出来る工程であることを特徴とする請求項25～請求項27のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項29】 報知する工程が、メッセージを音声によって報知する工程であることを特徴とする請求項25～請求項28のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項30】 報知する工程が、メッセージを画像によって報知する工程であることを特徴とする請求項25～請求項28のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項31】 サーバとクライアントとの間でネットワークを介してデータの送受信を行う際、クライアントにおいてメッセージを報知する方法であって、  
クライアントにおいて、

メッセージデータを予め記憶する工程と、  
サーバのデータをアクセスする前に記憶されているメッセージを表示待ち状態にする工程と、  
サーバにアクセスを開始すると、所定のタイミングでメッセージ表示コマンドを発行する工程と、

メッセージ表示コマンドを受けて、待ち状態にあるメッセージを報知する工程とを有するメッセージ報知方法。

【請求項32】 メッセージデータが広告データであることを特徴とする請求項31のメッセージ報知方法。

【請求項33】 報知する工程は、アクセス時間中、メッセージを報知し続ける工程であることを特徴とする請求項31又は請求項32のメッセージ報知方法。

【請求項34】 報知する工程は、メッセージを報知する時間を任意に設定することが出来る工程であることを特徴とする請求項31～請求項33のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項35】 報知する工程が、メッセージを音声によって報知する工程であることを特徴とする請求項31～請求項34のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項36】 報知する工程が、メッセージを画像によって報知する工程であることを特徴とする請求項31～請求項35のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項37】 記憶されているメッセージデータの中から、所定の期間経過したメッセージデータを消去する工程を更に有していることを特徴とする請求項31～請求項36のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項38】 所定のサーバにメッセージデータを格納する工程と、

ネットワークを介して、前記サーバからメッセージデータをロードし、ロードしたデータを新たなメッセージデータとして格納する工程とを更に有していることを特徴とする請求項31～請求項37のいずれかに記載のメッセージ報知方法。

【請求項39】 請求項25～請求項38のいずれかに記載のメッセージ報知方法が記録されて成ることを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は情報処理装置及び通信システムに関し、特にアプリケーションの起動時やデータのアクセス時に生じる待ち時間中、広告等のメッセージを報知する技術に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、情報処理装置の高度化に伴いそれに用いられるアプリケーション、データ等も複雑・巨大化している。例えば、起動させるだけでも数十秒の時間を要するワープロ、表計算等の汎用アプリケーションも珍しくない。又、インターネットの隆盛に伴い、通信による情報の閲覧・交換等も盛んに行われている。この時、所定の情報を得るために生じるアクセス時間も、データ伝送速度の限界や、多数のアクセスによる混雑によって多くの時間を要するのが現状である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述のアプリケーションの起動時間やアクセス時間は、現在の技術ではどうしても生じてしまう。しかし、ユーザにしてみれば、このような待ち時間はコンピュータに対する作業もできず、単に画面を見つめているか、ぼっとしているだけで時間の浪費である。更にアクセス時間においては、時間が長

くなればなるほど通信費がかさみ、費用的な面で大きな負担となる。

【0004】そこで、本発明の目的は、アプリケーションの起動時間やアクセス時間等に生じる待ち時間中、画像や音声により広告等のメッセージを報知することにより、ユーザの待ち時間を有効に活用すると共に、ユーザの費用負担等を減少させることが出来る情報処理装置及び通信システムと、メッセージ報知方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の目的は、情報処理装置であって、所定のプログラムが格納された第1の記憶手段と、メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムの命令を実行すると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記所定のプログラムが起動される前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有する情報処理装置によって達成される。

【0006】上記第1の記憶手段及び第2の記憶手段は、例えば内蔵されたハードディスクやRAM等が考えられる。又、上記第1の処理手段及び第2の処理手段は、CPUである。尚、第2の記憶手段に格納されるメッセージデータは、広告データであることが好ましい。ユーザが画面等に注視している時間に広告を見せれば、広告主にとっては望ましい効果が得られるからである。一方、広告を見る代わりに広告主に、例えばアクセスするに要した通信費等を負担してもらえれば、ユーザにとっても通信費等の負担を軽減することが出来るからである。

【0007】又、上記報知手段は、メッセージを音声出力する音声出力手段や、メッセージを画像表示する表示手段であることが好ましい。又、上記第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることが好ましい。例えば、メッセージ停止コマンドを、所定のプログラムの起動の完了後に発行するように構成することが出来る。

【0008】又、上記第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成されていることが好ましい。メッセージを見ることの出来る時間を自由に設定することが出来るからである。又、上記第2の記憶手段に格納されているメッセージデータを更新するメッセージデータ更新手段を更に有していることが好ましい。例えば、古い広告を消去し

て新しい広告を報知することにより、多くの種類の広告を提供することが出来るからである。

【0009】本発明の目的は、少なくとも第1の端末と第2の端末との間で通信回線を介して、データの送受信を行う通信システムにおいて、前記第1の端末は、所定のデータを格納する記憶手段と、前記第2の端末とデータの送受信を行う送受信手段とを有し、前記第2の端末は、前記第1の端末から所定のデータを送受信する為のプログラムが格納された第1の記憶手段と、メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムを実行して前記第1の端末の記憶手段に格納されたデータをアクセスすると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記第1の処理手段のアクセス開始前に前記メッセージ用プログラムを起動させて待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有することを特徴とする通信システムによって達成される。

【0010】上記第1、第2及び第3の記憶手段は、例えば内蔵されたハードディスクやRAM等が考えられる。又、上記第1の処理手段及び第1の処理手段はCPUである。尚、第2の記憶手段に格納されるメッセージデータは、広告データであることが好ましい。ユーザが画面等に注視している時間に広告を見せれば、広告主にとっては望ましい効果が得られるからである。一方、広告を見る代わりに広告主に、例えばアクセスするに要した通信費等を負担してもらえれば、ユーザにとっても通信費等の負担を軽減することが出来るからである。

【0011】又、上記報知手段は、メッセージを音声出力する音声出力手段や、メッセージを画像表示する表示手段であることが好ましい。又、上記第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成されていることが好ましい。例えば、メッセージ停止コマンドを、所定のプログラムの起動の完了後に発行するように構成することが出来る。

【0012】又、上記第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成されていることが好ましい。メッセージを見ることの出来る時間を自由に設定することが出来るからである。又、通信回線を介して、上記第2の記憶手段に記憶されているメッセージデータを更新するメッセージデータ更新手段を更に有することが好ましい。例えば、古い広告を消去して新しい広告を報知することにより、多くの種類の広告を提供することが出来るからである。

【0013】上記本発明の目的は、少なくとも1以上の

クライアント、及び第1のサーバ及び第2のサーバとの間でネットワークを介してデータの送受信を行う通信システムにおいて、前記第1のサーバは、所定のデータが格納された記憶手段と、前記クライアントからのアクセスにตอบสนองして、前記所定のデータを送信するデータ送受信手段とを有し、前記第2のサーバは、第1のメッセージデータが格納された記憶手段と、前記クライアントからアクセスにตอบสนองして、第1のメッセージデータを送信するデータ送受信手段とを有し、前記クライアントは、前記第1及び第2のサーバにアクセスして、データを受信するデータ送受信手段と、前記第1及び第2のサーバからデータをアクセスする為のプログラムが格納された第1の記憶手段と、第2のメッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記第2のメッセージデータに基づいてメッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムを実行して前記第1のサーバの記憶手段に格納されているデータを前記データ送受信手段を介してアクセスすると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記第1の処理手段のアクセス開始前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段から第2のメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段と、前記データ送受信手段の回線状況を監視し、前記第2のサーバとデータの送受信が可能となった場合には前記第2のサーバにアクセスし、前記第2のサーバの記憶手段に格納されている第1のメッセージデータをダウンロードし、このダウンロードしたデータを新たな第2のメッセージデータとして前記第2の記憶手段に格納する第3の処理手段とを有することを特徴とする通信システムによって達成される。

【0014】上記記憶手段は、例えば内蔵・外部のハードディスクやRAM等が考えられる。又、例えば、上記処理手段はCPU、ネットワークはインターネットが考えられる。尚、第1及び第2のメッセージデータは、広告データであることが好ましい。ユーザが画面等に注視している時間に広告を見せれば、広告主にとっては望ましい効果が得られるからである。一方、広告を見る代わりに広告主に、例えばアクセスするに要した通信費等を負担してもらえれば、ユーザにとっても通信費等の負担を軽減することが出来るからである。

【0015】又、メッセージデータを格納するサーバをネットワーク上に設けることにより、新しいメッセージデータに更新することが出来る。又、上記報知手段は、メッセージを音声出力する音声出力手段や、メッセージを画像表示する表示手段であることが好ましい。又、上記第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッ

セージ停止コマンドを発行するように構成されていることが好ましい。例えば、メッセージ停止コマンドを、所定のプログラムの起動の完了後に発行するように構成することが出来る。

【0016】又、上記第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成されていることが好ましい。メッセージを見ることの出来る時間を自由に設定することが出来るからである。又、上記第2の記憶手段は、報知されたメッセージデータを消去するように構成されていることが好ましい。古いデータをそのまま残しておく、記憶容量が少なくなり、クライアントの負担が大きくなるからである。

【0017】上記本発明の目的は、情報処理装置においてメッセージを報知する方法であって、メッセージデータを予め記憶する工程と、所定のプログラムが起動される前に記憶されているメッセージを報知待ち状態にする工程と、前記プログラムの起動が開始されると、メッセージ報知コマンドを発行する工程と、メッセージ報知コマンドを受けて、記憶されているメッセージを報知する工程とを有するメッセージ報知方法によって達成される。

【0018】尚、メッセージデータは、広告データであることが好ましい。ユーザが画面等に注視している時間に広告を見せれば、広告主にとっては望ましい効果が得られるからである。一方、広告を見る代わりに広告主に、例えばアクセスするに要した通信費等を負担してもらえれば、ユーザにとっても通信費等の負担を軽減することが出来るからである。

【0019】又、メッセージデータを更新する工程を更に有することが好ましい。又、上記報知する工程は、メッセージを報知する時間を任意に設定することが出来る工程であることが好ましい。又、報知する工程が、メッセージを音声、又は画像によって報知する工程であることが好ましい。

【0020】上記本発明の目的は、サーバとクライアントとの間でネットワークを介してデータの送受信を行う際、クライアントにおいてメッセージを報知する方法であって、クライアントにおいて、メッセージデータを予め記憶する工程と、サーバのデータをアクセスする前に記憶されているメッセージを表示待ち状態にする工程と、サーバにアクセスを開始すると、所定のタイミングでメッセージ表示コマンドを発行する工程と、メッセージ表示コマンドを受けて、待ち状態にあるメッセージを報知する工程とを有するメッセージ報知方法によって達成される。

【0021】尚、メッセージデータは、広告データであることが好ましい。ユーザが画面等に注視している時間に広告を見せれば、広告主にとっては望ましい効果が得られるからである。一方、広告を見る代わりに広告主

に、例えばアクセスするに要した通信費等を負担してもらえれば、ユーザにとっても通信費等の負担を軽減することが出来るからである。

【0022】又、上記報知する工程は、アクセス時間中、メッセージを報知し続ける工程であることが好ましい。又、上記報知する工程は、メッセージを報知する時間を任意に設定することが出来る工程であることが好ましい。又、上記報知する工程が、メッセージを音声、又は画像によって報知する工程であることが好ましい。

【0023】又、記憶されているメッセージデータの中から、所定の期間経過したメッセージデータを消去する工程を更に有していることが好ましい。又、所定のサーバにメッセージデータを格納する工程と、ネットワークを介して、前記サーバからメッセージデータをロードし、ロードしたデータを新たなメッセージデータとして格納する工程とを更に有していることが好ましい。

【0024】本発明の目的は、上記メッセージ報知方法が記録されたことを特徴とする記録媒体によって達成される。

【0025】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を説明する。本発明の情報処理装置は、所定のプログラムが格納された第1の記憶手段と、メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムの命令を実行すると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記所定のプログラムが起動される前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有する。

【0026】上記第2の記憶手段に格納されるメッセージデータを、広告データとする。上記報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを音声出力する音声出力手段で構成される。上記報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを画像表示する表示手段で構成される。

【0027】上記第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成される。上記第1の処理手段は、所定のプログラムの起動の完了後にメッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成される。上記第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成される。

【0028】本発明の情報処理装置は、第2の記憶手段に格納されているメッセージデータを更新するメッセー

ジデータ更新手段を更に有している。本発明の通信システムは、少なくとも第1の端末と第2の端末との間で通信回線を介して、データの送受信を行う通信システムにおいて、前記第1の端末は、所定のデータを格納する記憶手段と、前記第2の端末とデータの送受信を行う送受信手段とを有し、前記第2の端末は、前記第1の端末から所定のデータを送受信する為のプログラムが格納された第1の記憶手段と、メッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記メッセージデータに基づいて、メッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムを実行して前記第1の端末の記憶手段に格納されたデータをアクセスすると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記第1の処理手段のアクセス開始前に前記メッセージ用プログラムを起動させて待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段からメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段とを有する。

【0029】上記メッセージデータは、主に広告データである。上記報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを音声出力する音声出力手段である。上記報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを画像表示する表示手段である。

【0030】上記第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成される。上記第1の処理手段は、第1の記憶手段に格納されているプログラムの起動の完了後にメッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成される。

【0031】上記第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成される。本発明の通信システムは、通信回線を介して、第2の記憶手段に記憶されているメッセージデータを更新するメッセージデータ更新手段を更に有する。本発明の通信システムは、少なくとも1以上のクライアント、及び第1のサーバ及び第2のサーバとの間でネットワークを介してデータの送受信を行う通信システムにおいて、前記第1のサーバは、所定のデータが格納された記憶手段と、前記クライアントからのアクセスにตอบสนองして、前記所定のデータを送信するデータ送受信手段とを有し、前記第2のサーバは、第1のメッセージデータが格納された記憶手段と、前記クライアントからアクセスにตอบสนองして、第1のメッセージデータを送信するデータ送受信手段とを有し、前記クライアントは、前記第1及び第2のサーバにアクセスして、データを受信するデータ送受信手段と、前記第1及び第2のサーバからデータをアクセスする為のプログラムが格納された第1の記憶

手段と、第2のメッセージデータが格納された第2の記憶手段と、前記第2のメッセージデータに基づいてメッセージを報知する為のメッセージ用プログラムが格納された第3の記憶手段と、メッセージを報知する報知手段と、前記第1の記憶手段に格納されているプログラムを実行して前記第1のサーバの記憶手段に格納されているデータを前記データ送受信手段を介してアクセスすると共に、所定のタイミングでメッセージ開始コマンドを発行する第1の処理手段と、前記第1の処理手段のアクセス開始前に前記メッセージ用プログラムを起動して待ち状態にし、前記メッセージ開始コマンドを受けると前記第2の記憶手段から第2のメッセージデータを読み出し、この読み出したデータに基づいて前記報知手段にメッセージを報知させる第2の処理手段と、前記データ送受信手段の回線状況を監視し、前記第2のサーバとデータの送受信が可能となった場合には前記第2のサーバにアクセスし、前記第2のサーバの記憶手段に格納されている第1のメッセージデータをダウンロードし、このダウンロードしたデータを新たな第2のメッセージデータとして前記第2の記憶手段に格納する第3の処理手段とを有する。

【0032】上記第1及び第2のメッセージデータは、主に広告データである。上記報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを音声出力する音声出力手段である。上記報知手段は、メッセージデータに基づいて、メッセージを画像表示する表示手段である。

【0033】上記第1の処理手段は、メッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成される。上記第1の処理手段は、第1の記憶手段に格納されているプログラムの起動の完了後にメッセージの報知を停止するメッセージ停止コマンドを発行するように構成される。

【0034】上記第1の処理手段は、メッセージ停止コマンドを発行するタイミングを任意に設定出来るように構成される。上記第2の記憶手段は、報知されたメッセージデータを消去するように構成される。本発明のメッセージ報知方法は、情報処理装置においてメッセージを報知する方法であって、メッセージデータを予め記憶する工程と、所定のプログラムが起動される前に記憶されているメッセージを報知待ち状態にする工程と、前記プログラムの起動が開始されると、メッセージ報知コマンドを発行する工程と、メッセージ報知コマンドを受けて、記憶されているメッセージを報知する工程とを有する。

【0035】上記メッセージデータは主に広告データである。本発明のメッセージ報知方法は、メッセージデータを更新する工程を更に有する。上記報知する工程は、メッセージを報知する時間を任意に設定することが出来る工程である。

【0036】上記報知する工程は、メッセージを音声に

よって報知する工程である。上記報知する工程は、メッセージを画像によって報知する工程である。本発明のメッセージ報知方法は、サーバとクライアントとの間でネットワークを介してデータの送受信を行う際、クライアントにおいてメッセージを報知する方法であって、クライアントにおいて、メッセージデータを予め記憶する工程と、サーバのデータをアクセスする前に記憶されているメッセージを表示待ち状態にする工程と、サーバにアクセスを開始すると、所定のタイミングでメッセージ表示コマンドを発行する工程と、メッセージ表示コマンドを受けて、待ち状態にあるメッセージを報知する工程とを有する。

【0037】上記メッセージデータは、主に広告データである。上記報知する工程は、アクセス時間中、メッセージを報知し続ける工程である。上記報知する工程は、メッセージを報知する時間を任意に設定することが出来る工程である。

【0038】上記報知する工程は、メッセージを音声によって報知する工程である。上記報知する工程が、メッセージを画像によって報知する工程である。本発明のメッセージ報知方法は、記憶されているメッセージデータの中から、所定の期間経過したメッセージデータを消去する工程を更に有している。本発明のメッセージ報知方法は、所定のサーバにメッセージデータを格納する工程と、ネットワークを介して、前記サーバからメッセージデータをロードし、ロードしたデータを新たなメッセージデータとして格納する工程とを更に有している。

【0039】本発明の記録媒体は、上述したメッセージ報知方法が記録されて成る。次に、本発明の実施の形態を具体的に説明する。第1の実施の形態は本発明をコンピュータ（マイコン）に用いた例であり、図1は第1の実施の形態のブロック図である。コンピュータ1は、アプリケーションや広告データが格納されている内蔵ハードディスク（内蔵HD）2と、他のコンピュータとデータの送受信をする為のモデム3と、画像を表示するディスプレイ4と、内蔵ハードディスク2、モデム3及びディスプレイ4を制御する中央処理装置（CPU）5とから構成される。

【0040】内蔵HD2の領域HD2aにはコンピュータ1の制御するOSが格納され、内蔵HD2の領域HD2bにはワープロや通信ソフト等の汎用アプリケーションが格納され、内蔵HD2の領域HD2cには広告表示用のアプリケーションが格納され、内蔵HD2の領域HD2dには広告データが格納されている。尚、上述の汎用アプリケーションには、後述する広告表示コマンド及び広告表示停止コマンドを所定のタイミングで発行する命令が含まれている。

【0041】又、広告表示用のアプリケーションとは、広告表示コマンド及び広告表示停止コマンドに基づいて、HD2dに格納されている広告データを表示・停止

するものである。次に、第1の実施の形態の動作をCPU5の制御の動作を中心に説明する。図2は第1の実施の形態の動作のフローチャートである。

【0042】まず、コンピュータ1がONされると、CPU5はHD2aからOSを読み出して、OSを起動させる（Step1）。続いて、CPU5はHD2cから広告表示用のアプリケーションを読み出して起動する（Step2）。そして、コマンド受け待ち状態にする（Step3）。

【0043】ユーザにより、ワープロ等の汎用アプリケーションの起動が命じられると、CPU5はHD2bから汎用アプリケーションを読み出して、汎用アプリケーションの起動を開始する（Step4）。このとき、汎用アプリケーション起動開始のタイミングで広告表示コマンドが発行される（Step5）。広告表示コマンドが発行されると（Step6）、CPU5は待ち状態にある広告表示用アプリケーションに基づいてHD2dに格納されている広告データを読み出す（Step7）。そして、読み出したデータに基づいて、ディスプレイ4に広告を表示する（Step8）。

【0044】汎用アプリケーションの起動が完了すると（Step9）、広告表示停止コマンドが発行される（Step10）。広告表示停止コマンドが入力されると（Step11）、CPU5はディスプレイ4に広告を表示を停止させる（Step12）。そして、再び待ち状態に戻る（Step3）。

【0045】この様にすれば、汎用アプリケーションの起動中、ディスプレイ4に広告が表示され、ユーザは表示された広告を楽しむことが出来る。又、広告を表示させることにより、汎用アプリケーションの費用の一部を広告主に負担させ、ユーザの費用負担を減らすことも出来る。尚、広告表示コマンド及び広告表示停止コマンドの発行タイミングは、任意に調整することが出来るようにしても良い。例えば、広告表示停止コマンドの発行を汎用アプリケーション起動の完了後、しばらくしてから発行させても良い。

【0046】又、予め広告データをRAMに読み込んでおけば、汎用アプリケーションの起動開始後直ちに広告を表示することも可能となる。又、音声出力手段、例えばスピーカを設けて、画像だけでなく音声でも広告を報知するようにしても良い。次に、HD2dに格納されている広告データの更新について説明する。図3は広告データの破棄の動作フローチャート、図4は新しい広告データのロードの動作フローチャートである。

【0047】まず、広告データの破棄の動作について説明する。尚、この場合の破棄条件は、（1）広告主が設定した表示時間を越えた広告データ（2）現在表示中でない広告データの二つである。又、これらは、予め広告表示用のアプリケーションに登録されているものとする。CPU5は、HD2dに格納されている広告データ



のうち、破棄条件に合致した広告データが格納されているか定期的にチェックを行う(Step 31)。

【0048】破棄条件に合致した広告データがあれば、ユーザの設定条件がその広告データについて破棄か保存かのチェックを行う(Step 32)。破棄であれば、その広告データを破棄する(Step 33)。保存であれば、その広告データをHD 2 dの指定の格納場所に再び保存する(Step 34)。尚、ユーザが広告データの保存の有無を設定することが出来るようにしたのは、ユーザによっては気に入った広告を保存しておきたい場合があるからである。

【0049】続いて、新しい広告データのロードの動作を説明する。ここでは、ユーザの設定した広告データ数を5件として説明する。まず、CPU 5は、HD 2 dに空き領域が存在するか否かをチェックする(Step 41)。空き領域があれば現在の広告データの格納数をチェックする。

【0050】格納されている広告データが5件以下ならば(Step 42)、広告データのロードを開始する(Step 43)。広告データのロードは、モデム3を介して外部端末(図示せず)からロードする。尚、本実施の形態では、データ送受信手段の例としてモデムを用いたが、これに限定するものではなく、例えば携帯電話やイーサネットインタフェースでも良く、又専用線を用いる場合のルータでも良い。

【0051】第2の実施の形態について説明する。第2の実施の形態は、第1の実施形態のコンピュータ1をクライアントに応用し、他のサーバとネットワークを介して通信を行う通信システムである。以下、ネットワークとしてインターネットを用いた例について説明する。図5は第2の実施の形態のブロック図である。

【0052】51は第1の実施の形態において説明したコンピュータであり、クライアントの役目を果たす。以後、コンピュータ51をクライアント51と呼ぶ。尚、内蔵HD 2の領域HD 2 bには、MosaicやNetscapeに代表されるブラウザ等の通信アプリケーションが格納されている。52はホームページ提供用のサーバである。サーバ52は、ホームページのデータが格納されたハードディスク521と、クライアント51とデータの送受信を行う送受信手段522とを有している。

【0053】53は広告データ提供用のサーバである。サーバ53は、広告データが格納されたハードディスク531と、クライアント51とデータの送受信を行う送受信手段532とを有している。54はインターネットである。次に、上述の構成における動作を説明する。

【0054】まず、クライアント51からサーバ52のホームページをダウンロードする際のアクセス時間に広告を表示する場合を説明する。図6、図7は広告表示の動作フローチャートである。本動作の実行前に、予めク

ライアントのユーザが、広告の表示時間をLong/Shortのどちらかを設定しておく。尚、Longは、ユーザの目的データ(ホームページのデータ)を全てロードし終えるまで広告を表示する。Shortは、ロード開始後、ユーザが設定した時間まで広告を表示する。

【0055】又、クライアント51は、既に広告表示用のアプリケーションが起動されて、コマンド受け待ち状態にあるものとする(図2のStep 3の状態)。まず、ブラウザを起動させてサーバ52のURLを指定すると、アクセスが開始される(Step 61)。すると、アクセスの開始に伴って広告表示コマンドが発行される(Step 62)。

【0056】広告表示の時間がLongかShortかを判断し(Step 63)、広告表示フローに移行して広告を表示する。クライアント51がホームページのデータを全てロードし終えると(Step 64)、広告表示コマンドが発行される(Step 65)。そして、このときまでに広告表示が停止されていなければ(Step 66)、広告表示を停止し(Step 67)、ブラウザ又はホームページの画面に戻す(Step 68)。

【0057】続いて、広告表示フローを詳細に説明する。広告表示フローでは、広告の表示時間をカウントし、広告主が指定した表示時間が経過したか否かを判断する(Step 71)。指定された表示時間が経過した場合は、クライアント51のユーザが指定した時間が経過したか否かを判断する(Step 72)。そして、経過していないならば広告を表示し(Step 73)、経過していれば広告表示を停止する(Step 74)。

【0058】一方、広告主が指定した表示時間が経過していない場合は、クライアント51のユーザが指定した時間が経過したか否かを判断する(Step 75)。そして、経過していないならば広告を表示し(Step 73)、経過していれば広告表示を停止する(Step 74)。次に、広告データの更新について説明する。

【0059】図8は広告データの破棄の動作フローチャート、図9は新しい広告データのロードの動作フローチャートである。まず、広告データの破棄の動作について説明する。尚、この場合の破棄条件は、(1)広告主が設定した表示時間を越えた広告データ(2)現在表示中でない広告データの二つである。又、これらは、予め広告表示用のアプリケーションに登録されているものとする。

【0060】CPU 5は、HD 2 dに格納されている広告データのうち、破棄条件に合致した広告データが格納されているか定期的にチェックを行う(Step 81)。破棄条件に合致した広告データがあれば、ユーザの設定条件がその広告データについて破棄か保存かのチェックを行う(Step 82)。破棄であれば、その広告データを破棄する(Step 83)。

【0061】保存であれば、その広告データをHD 2 d

の指定の格納場所に再び保存する(Step 84)。続いて、新しい広告データのロードの動作を説明する。ここでは、ユーザの設定した広告データ数を5件として説明する。まず、現在の広告データの格納数をチェックして5件以下ならば(Step 91)、ネットワークの回線接続状況を監視する(Step 92)。

【0062】回線が接続されていない場合には(Step 93)、回線を接続する(Step 94)。そして、サーバ53にアクセスしてハードディスク531に格納されている広告データを必要な件数分ロードする(Step 95)。回線が接続されており(Step 93)、かつサーバ53とデータの送受信が可能な場合には(Step 96)、サーバ53にアクセスしてハードディスク531に格納されている広告データを必要な件数分ロードする(Step 95)。

【0063】回線が接続されており(Step 94)、かつサーバ53とデータの送受信が不可能な場合には(Step 96)、Step 91に戻る。この様にすれば、サーバへのアクセス中、広告が表示され、ユーザは表示された広告を楽しむことが出来る。又、広告を表示させることにより、サーバにアクセスするのに必要な通信費の一部を広告主に負担させ、ユーザの費用負担を減らすことも出来る。又、広告データ等を更新させているので、ユーザも飽きることなく広告を楽しむことが出来る。

【0064】尚、広告表示コマンド及び広告表示停止コマンドの発行タイミングは、任意に調整することが出来るようにしても良い。又、予め広告データをRAMに読み込んでおけば、汎用アプリケーションの起動開始後直ちに広告を表示することも可能となる。又、音声出力手段、例えばスピーカを設けて、画像だけでなく音声でも広告を報知するようにしても良い。

【0065】更に、音声や画像の報知による音、視覚による報知だけでなく、臭い等の五感に訴えるものであっても良い。更に、本発明の方法及びシステムを制御するプログラムをフロッピーやCD-ROMの記憶媒体に記

憶させれば、多くの者が利用することが出来る。

【0066】

【発明の効果】本発明によれば、汎用アプリケーションの起動中やアクセス中にメッセージが表示されるので、ユーザは表示されたメッセージを楽しむことが出来る。

更に、メッセージデータ等を更新させているので、ユーザも飽きることなくメッセージを楽しむことが出来る。

【0067】又、メッセージとして広告を表示させることにより、汎用アプリケーションの費用の一部や通信費の一部又は全額を広告主に負担させ、ユーザの負担を減らすことも出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態のブロック図である。

【図2】第1の実施の形態の動作のフローチャートである。

【図3】広告データの破棄の動作フローチャートである。

【図4】新しい広告データのロードの動作フローチャートである。

【図5】第2の実施の形態のブロック図である。

【図6】広告表示の動作フローチャートである。

【図7】広告表示の動作フローチャートである。

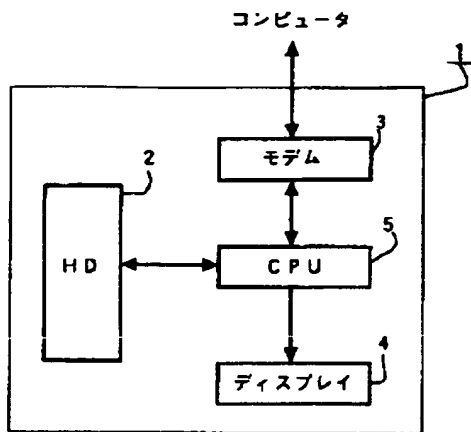
【図8】広告データの破棄の動作フローチャートである。

【図9】新しい広告データのロードの動作フローチャートである。

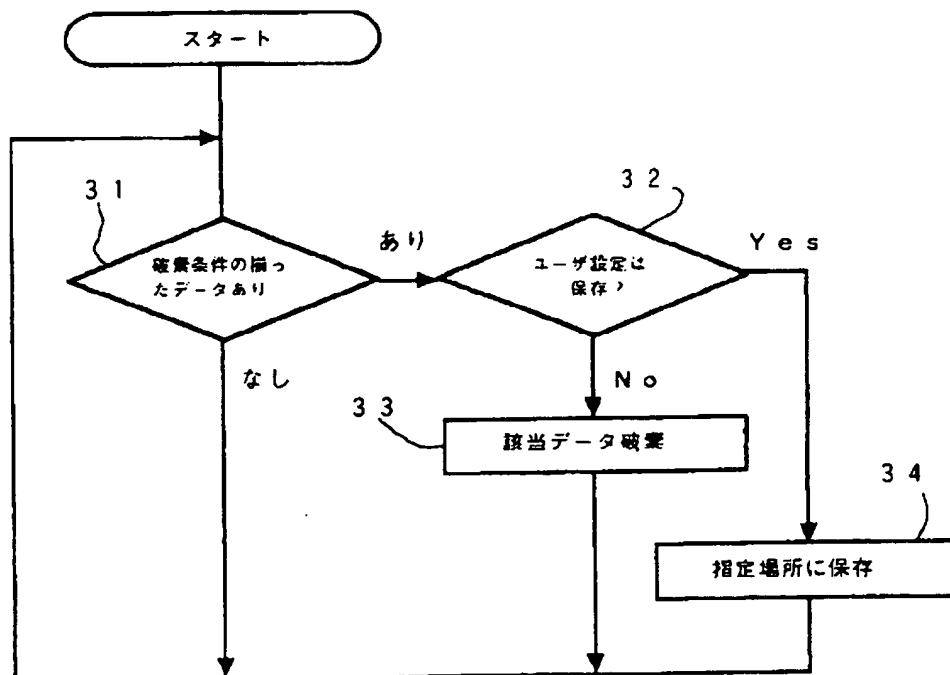
【符号の説明】

- |    |               |
|----|---------------|
| 1  | 情報処理装置        |
| 2  | ハードディスク       |
| 3  | モデム           |
| 4  | ディスプレイ        |
| 5  | CPU           |
| 51 | クライアント        |
| 52 | ホームページ提供用のサーバ |
| 53 | 広告データ提供用のサーバ  |
| 54 | インターネット       |

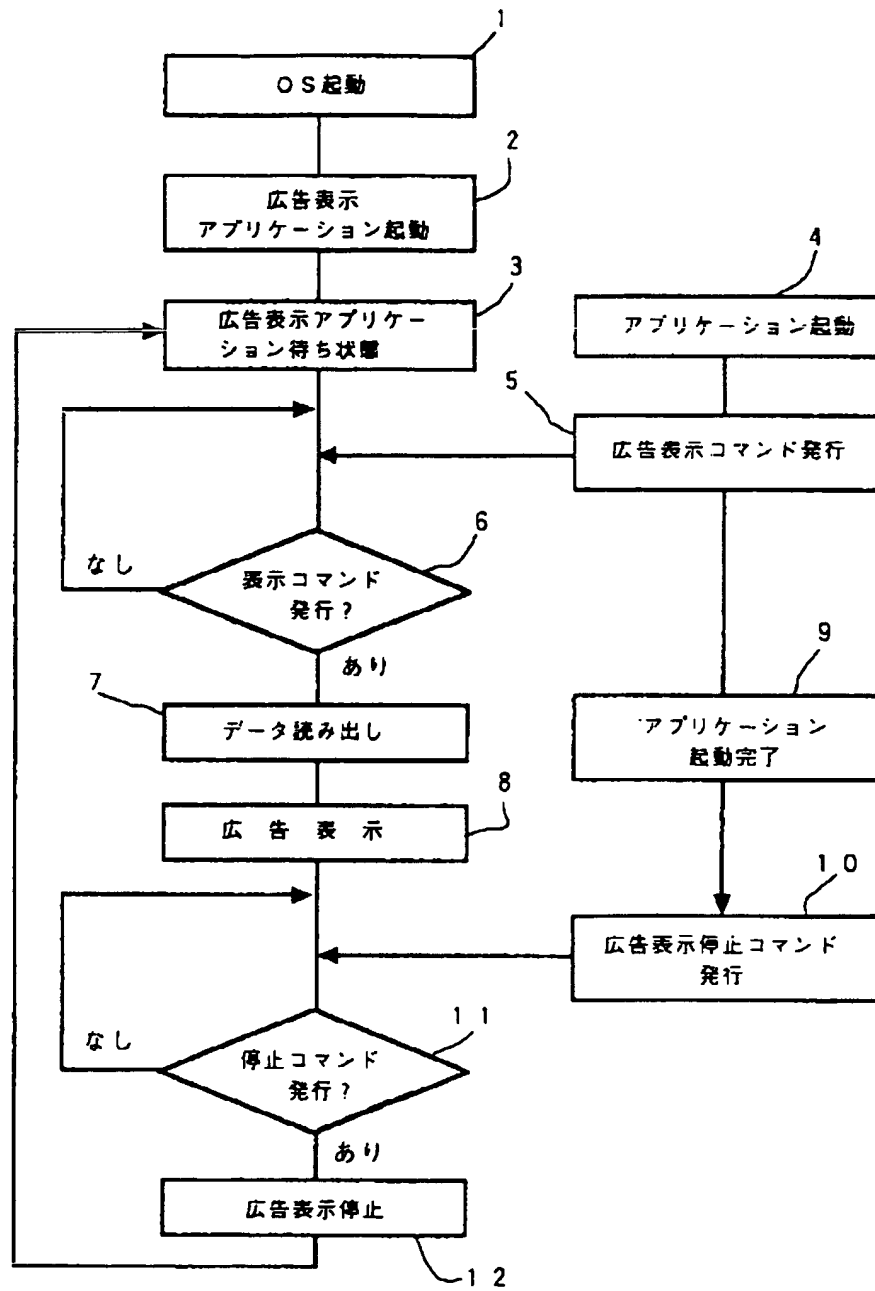
【図1】



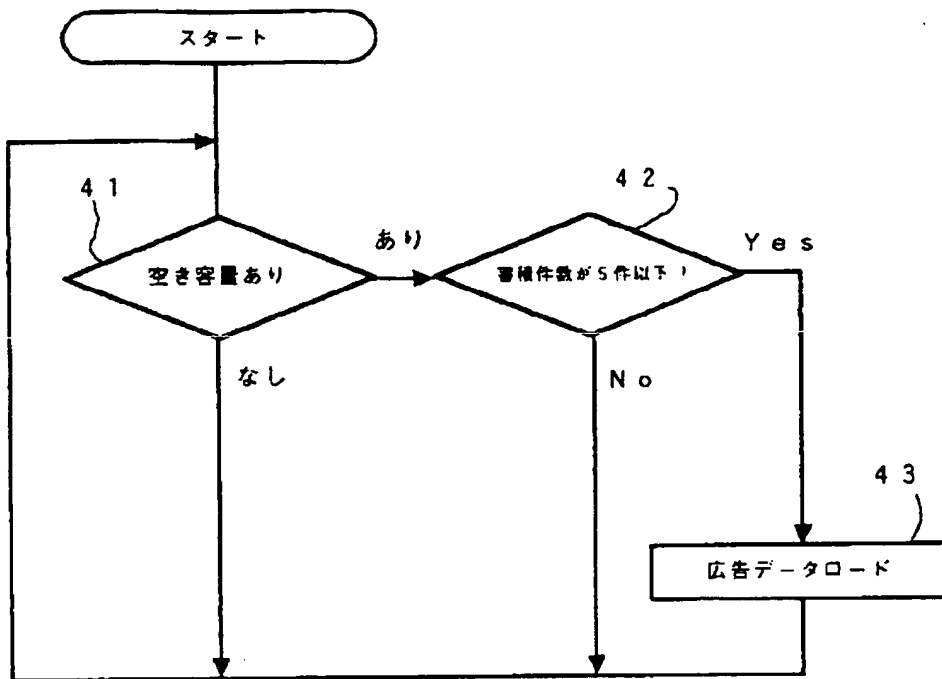
【図3】



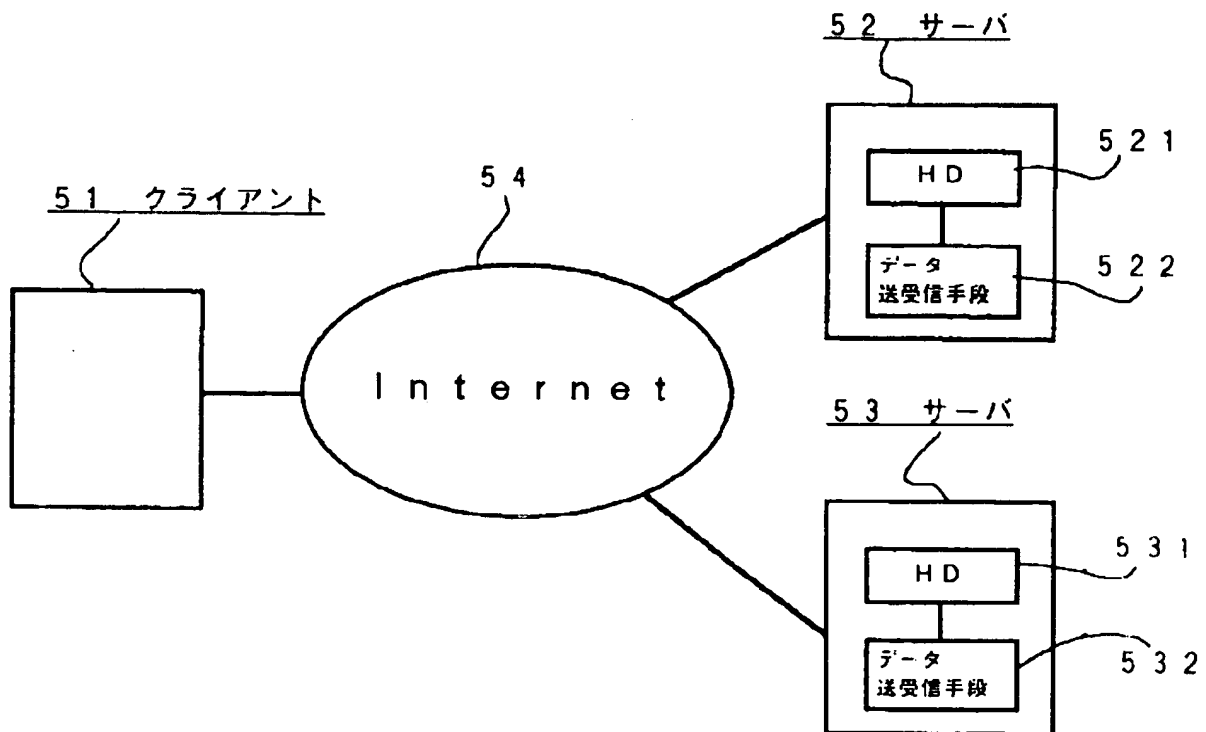
【図2】



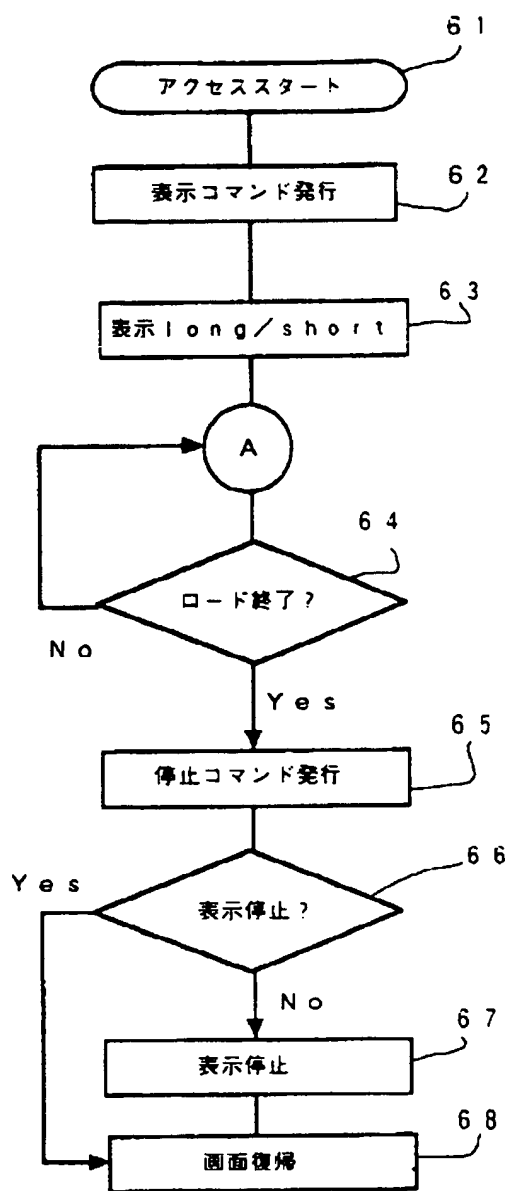
【図4】



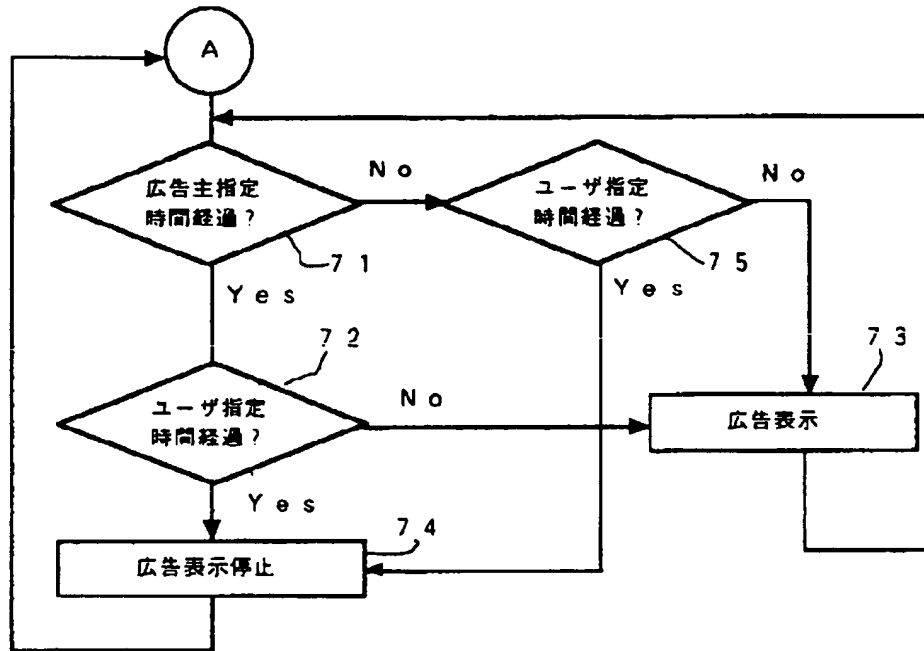
【図5】



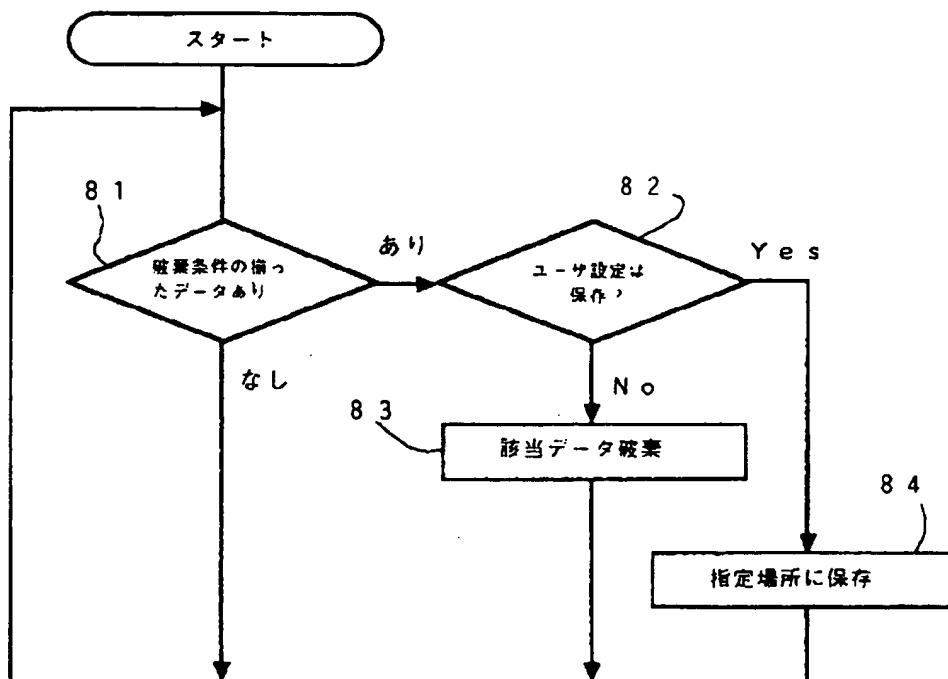
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

